

日畑廃寺(倉敷市)

ここが日畑廃寺/王墓山丘陵東側の谷間平地にある寺院跡で赤井堂屋敷とも呼ばれる/白鳳時代(7世紀後半頃)の創建



標柱や説明板が立っていた

 video



王墓山古墳を造った子孫たちの建立した寺院跡と云う



倉敷市指定史跡

赤井堂屋敷

白鳳時代(七世紀後半)創建の備中国
では、有数の寺院址。

礎石列が今も埋まっているこの場所を中心に
一丁四方(二〇四方)におよぶ広い寺域に
伽藍をととのえた雄姿をこの
日畑の地にはほこっていた。
背後には県指定史跡 王墓山古墳
をはじめ約九十の古墳がありその
古墳をつくった子孫たちが建立したもの
であろう。

倉敷市教育委員会

「岡山縣史跡」とある



こちらにも説明板が立っている

[video](#)



市指定史跡

日畑廃寺

昭和四六年九月一〇日指定

白鳳時代（七世紀後半頃）に創建された寺院跡である。東に開く浅い谷間に位置し、赤井堂屋敷の地名が残されている。伽藍等については明らかにされていないが、現在一部見ることのできる花崗岩製の大形の礎石群は、七間四面の東向きなどの建物に伴うものと見られ、周辺の地形などと考え合わせ玉墓山を背に東面する伽藍配置が想定されている。

本廃寺から出土する古代瓦には、単弁蓮華文軒丸瓦と吉備式と呼ばれる華麗な文様をもつ重弁蓮華文軒丸瓦の二種の軒丸瓦が知られており、頸部に波状文や凸帯文をもつ重弧文軒平瓦を伴う。なお、これらの瓦はここから約二・五キロメートル南西にある二子御堂奥窯跡で焼かれたことが判明している。

倉敷市教育委員会

文化財を大切にしましょう

ここから出土した瓦は吉備寺式と云われ、南西へ約2.5km の位置にあった二子御堂奥窯跡群で焼かれたものであることが判明している。現在一部見ることのできる花崗岩製の大形の礎石群は、七間四面の東向きの建物に伴うものと見られると記されている

参考ホームページ

<https://www.city.kurashiki.okayama.jp/5527.htm>

<https://tabioka.com/akaido-district/>

